

# ふれあい中須

平成21年  
8月15日号

編集発行  
中須をよりよくする会  
中須公民館



## 御田頭祭揉山



七月二十五日(土)、豊作を願って御田頭祭がとり行われまし  
た。  
今年、白樺・朴・市・臥月・清溪・中学校の六つの山が繰出されました。  
時折、雷とともに雨が激しく打ちつけるといふ悪天候の中でも、決して、それに負けない元氣な掛け声や太鼓の音が中須のまちに響き渡り、まさに勇壮な揉山でした。



夏休み子ども教室  
八月五日(水)、公民館と子ども教室の共催で、『大田原自然の家で遊ぼう!』を開催しました。  
午前中は、『ピザづくり』に挑戦し、午後からは、草すべりや坂ゴロ遊びなど、自然の中で元氣に遊びました。  
『夏休みの楽しい思い出』できたかな?

## 8月・9月の行事予定

日時	内容	場所	備考
8月14日(金)	追悼盆踊り大会	総合グラウンド	社会福祉協議会
8月25日(火) 13:20~14:00	移動図書館 やまびこ号	中須支所	
9月11日(金) 13:20~14:00	移動図書館 やまびこ号	中須支所	
9月13日(日)	小中学校合同運動会	中須中学校	
9月16日(水) 10:00~14:00	敬老会	中須小学校講堂	社会福祉協議会



北部地区球技大会  
7月26日(日)  
中須中学校体育館  
中須地区体育振興会主催

## 中須の人口 8月1日現在

	人口	前月比
男	4,233人	(-2人)
女	4,944人	(±0人)
総人口	9,177人	(-2人)
世帯数	4,244世帯	(+1世帯)
高齢化率	44.4%	



## なかず再発見!

大溝水路の巻

第16回



今回の再発見は、『大溝水路』です。中須中学校前のバス停の近くに久保の自治会集会所があり、そこに輝く水が、絶え間なく勢いよく流れる水路があります。それが、大溝水路の側には、『大溝改修記念之碑』と刻まれた石碑が建っています。この石碑は、昭和五十四年から八年にわたる『大溝水路』の改修工事がなされ、その完成を記念して、昭和六十二年三月に建てられました。

『大溝水路』には、有名な語り継がれています。この地に江戸時代よりも昔、今から幾百年も昔の話。この地域にひたりのおばあさんが住んでいました。ここ久保地区には川もなと、家で使う水はもろろのこた、田や畑に使う水も遠くまでくみに行くのが毎日の大切な仕事でした。そこで、このおばあさんは、遠く川上から溝を掘って水を引いてくることを思いつき、全長5キロ弱にもおよぶ水路を完成させました。当時は、もちろん現在のようないかなる測量器具はあるはずもなく、夜間、測量地点の松明のあかりで土地の高低を判断しながら手作業で工事を進め、ついにこの大偉業を成し遂げたといわれています。昔の人々の知恵と技術と大変な苦勞に驚き、そして、この水路が、人々の生活だけでなく、心に安らぎを与え続けたことにただただ感動させられます。これからの私たちにできること、それは、この水路を守り続けること。もちろんのこと、いつまでも、いつまでも、この『大溝ばあさん』の話を通じて、先人たちが残してくれた遺産を、語り継いでいくことなのかも、しれないですね。(写真・文 公民館主事 福田)

## ちょっとひとこと

昔の人は雷が鳴るとおまじないとして、くわばら、くわばらと唱えていた事は皆さんご存知だろうか。

太宰府に流されて雷神になった菅原道真が自分の領地、桑原には決して雷を落とさなかつたというのが語源と言われている。

未曾有の被害になった集中豪雨、竜巻、いつまでたっても明け

ない梅雨など、地球が今、悲鳴を上げている。私たち人間が豊かさや、便利さ

だけを追い求め続けて環境破壊を繰り返してきたことへの警鐘だ。このままだとこの美しい故郷がなくなってしまうかもしれない。

本当に大切なものは何か、それを子供たちにどの様に伝えるのか、私たちは今一度、真剣に考えなおしたい。そして、地球が雷を落とさないように皆で唱えよう。くわばら、くわばら。



周南市消防団北第四分団長

神足孝志